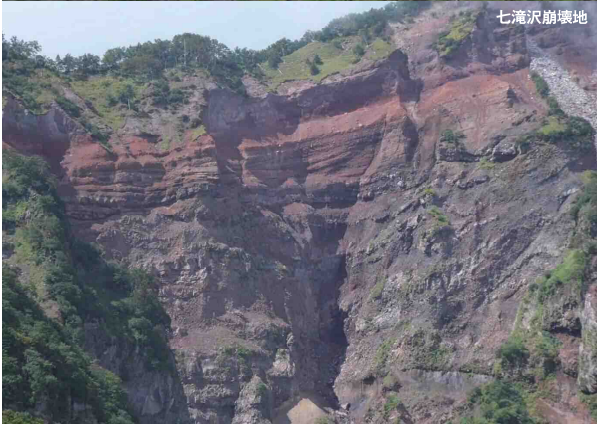


# 女峰山

知られざる崩れ



大鹿落とし



七滝沢崩壊地

## 見えない大崩壊地

女峰山は、もともと男体山のような山裾の広い、円錐状の成層火山でしたが、8万6000年前の最後の爆発的噴火により山頂部が吹き飛び、カルデラと呼ばれる大きな窪地が形成されました。カルデラは、その後長い年月をかけて侵食され、大きな崩壊地を形成しました。それが、「大鹿落とし」と「七滝沢崩壊地」です。

今現在も崩れ続けているこれらの崩壊地のうち、「大鹿落とし」は日光の市街地から見ることはできません。見えないところで日々崩壊し続けている山裾に、日光は存在しているというわけです。



小真名子山 女峰山 赤碓山

七滝沢崩壊地 大鹿落とし

日向砂防堰堤

七滝沢崩壊地



大鹿落とし

カルデラ



さらに詳しい  
情報はこちらから

国土交通省 関東地方整備局 日光砂防事務所

「砂防なくして日光なし」-先頭に立って砂防の必要性を訴えた初代日光市長・佐々木耕郎氏の言葉